

エキスパンダー手術とシリコンインプラント（人工乳房）挿入術を受けられた方へ

現在、上記 2 種類の手術で使用する人工物（アラガン社製）による乳房再建術は全世界で行われています。日本ではアラガン社製のものだけが保険診療で認められていますが、今回、このエキスパンダーとシリコンインプラント（人工乳房）を使用したことに関連して未分化大細胞型リンパ腫（BIA-ALCL）^{※1}の発生が疑われています。諸外国（フランス、シンガポール、カナダ、アメリカ）ではすでに 100 例以上の発生が報告されていますが、アジアでは発生報告は少なく国内では今年の 6 月に 1 例のみ報告されています。

フランス、シンガポール、カナダに続きアメリカでも 7 月 24 日に使用禁止となり、同日にアラガン社がこの製品の自主回収と販売停止を決定しました。日本でも 7 月 25 日に販売が中止されました。

現在、このエキスパンダーが入っている患者さんとシリコンインプラント（人工乳房）挿入手術が終了している患者さんへの対応ですが、無症状の場合挿入されている同製品の予防的な抜去や交換は推奨されていません（現時点での FDA^{※2}の見解）。FDA の見解をもとに当院でも抜去や交換は推奨していません。今まで通りの定期受診による診察と検査で確認を行いますのでご安心ください。

※1. BIA-ALCL インプラント関連未分化大細胞型リンパ腫とは

T 細胞性非ホジキンリンパ腫の型の一つで、乳がんとは異なる血液系の悪性腫瘍です。

この病気が発症した場合の症状は人工物の周囲に液体がたまり大きく腫れてきます。このような症状がある場合には早急に検査が必要ですので連絡ください。

※2. FDA アメリカ食品医薬品局(Food and Drug Administration)日本の厚生労働省にあたる省庁

上記に関する今後の対応についての相談は、がん相談支援センターにてお受けしています。詳細な説明や早めの医師の説明を希望される場合は下記へご連絡ください。

●がん相談支援センター

電話番号：089-999-1114（直通）

受付時間：8:30 ～ 17:15（土・日・祝祭日・年末年始を除く）

つながりにくい場合は

四国がんセンター代表 089-999-1111 におかけください

2019 年 8 月 1 日

国立病院機構四国がんセンター 特命副院長

形成外科 責任医師 河村 進

■詳細な文章と報告は下記日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会 HP からご参照ください。

<http://jopbs.umin.jp/general/index.html>